

(オプトアウト)

米沢市立病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	胃癌手術における術後せん妄の予測因子についての検討
該当者	下記期間内に当院外科で胃癌に対して手術を施行された患者様
当院の研究責任者	米沢市立病院 外科 千葉裕仁、佐藤佳宏
研究代表者	米沢市立病院 外科 佐藤佳宏、千葉裕仁、研修医 原島 諒
本研究の目的	<p>消化器癌の術後において、術後せん妄は術後管理を困難とし、入院期間の延長や術後死亡に関連する重要な合併症です。特に高齢の方は術後せん妄のリスク因子であることが知られており、昨今の日本では人口の高齢化が進むとともに、消化器癌で手術を受ける高齢の方が増えている現状があり、術後管理を行う上で、術後せん妄は今後更に重要になってくるものと思われまます。</p> <p>術後せん妄の予測因子については過去にも様々な因子が研究されていますが、近年術前の脳機能検査や術前術後の炎症反応、腸内細菌の変化といった新たな因子が解明されつつあります。</p> <p>本研究ではそういった新たに解明されつつある因子を含む様々な因子について、術後せん妄を予測する因子となり得るかについて検討するこ</p>

	とが目的です。
実施予定期間	2016年1月から2021年12月まで
研究の方法	上記患者様の来院時の電子カルテの記録より、年齢・性別・基礎疾患や常用薬等の背景データ、手術時情報（術式、手術時間、麻酔時間、出血量、尿量、術中所見、輸血の有無等）、術後情報（術後血液検査、術後弁検査、合併症の有無、投与薬剤の詳細など）、検査所見（血液検査、内視鏡所見、病理検査結果、画像検査等）、転帰（入院期間、退院時の状態など）についての情報を抽出します。それらの情報を用いて統計学的な解析を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	電子カルテから上記情報を抽出します。
外部への試料・情報の提供・公表	本研究データを用いて学会発表や論文作成を行う予定です。
個人情報の取扱い	利用する情報から、氏名や住所等の個人を直接特定出来る情報は全て削除および匿名化します。
利益相反	本研究に関し開示すべき利益相反はありません。
お問合せ先	米沢市立病院 0238-22-2450（代表）